

アンダンテ カンタービレ

歩く速さで歌うように

平成の市町村大合併に揺れる鳥越村。団員5人の小さなアマチュア合唱団、
大きな町の市民合唱団に吸収合併のピンチ?そこへ3人の新入団員がやってきて…。

(このおはなしは、少しだけ史実を基にしたフィクションです)

石川県でも人気の高い北海道演劇シーンをリードしてこられた斎藤歩さんの人気レパートリーを、
舞台を北海道から白山市に移し替えて、上演します。



蛭沢匠



おのでりりほ
(劇団アンゲルス)



新宅安紀子
(劇団北陸新協)



西田徳子



西村雄二



元木崇太
(劇団ひまわり)



森要作



Yukari Kawada
(Sound Artist / Vocal)



得田美和子
(演奏)

ゲスト出演 吉倉都 ババリンガー 渡邊雅基 ケビンくろう ほか

原 作	斎藤歩 (札幌座)
脚 色	ワンネス一座
演 出	奈良井伸子
振 付	吉倉都
照 明	林怜奈 (演劇ユニット浪漫好)
宣伝美術	横川正枝
スチール写真	中村広太郎
受 付	義本真佐美

鳥越公演

ワンネススクール鳥越校舎

〒920-2362 石川県白山市別宮町口8

3月22日(日) 11:00 / 15:00

料金:大人1,000円、学生500円

松任公演

松任学習センターライブシアター

〒924-0872 石川県白山市古城町305番地

3月28日(土) 14:00 / 18:30

3月29日(日) 14:00

料金:大人2,000円、学生500円

開場は開演の30分前 上演時間は約1時間半を予定しています。



戯曲原作 斎藤歩 さいとう あゆむ

1964年生まれ。北大演劇研究会、札幌ロマンチカシアター鮎鱈(ほうぼう)舎を経て、1996年、北海道演劇財団設立、TPS契約アーティストに就任。2000年より東京・札幌の2拠点で活躍。2016年札幌に移住。北海道演劇財団の常務理事・芸術監督、2020年理事長に就任。2000年「逃げてゆくもの」文化庁芸術祭優秀賞受賞。2002年「冬のバイエル」東京新聞現代劇ベスト5 選出。2025年6月病のため死去。

チケットお申込みフォーム



今、この時代、いなかに住むということ。
豊かさって? 人と人が共に生きるって? そもそも人生って?

地方を愛し、こだわり、生き、演じた演劇人“斎藤歩”の世界を少しでも表現できたらいいな、
作品は最高、後は我らの情熱なり。観に来てくださいな。 主宰 森 要作

メールでのお申込み&お問い合わせ
one.ichiza@gmail.com